

◆◆◆敬老の日◆◆◆

■一昨日は「敬老の日」でした。

敬老の日と言えば私はいまだに

「9月15日」が頭にうかびます。

「ハッピーマンデー制度」によって、
成人の日、体育の日等とともに日にちが
かわってしまいました。

連休になっていいなあ、という思いもありますが、いまだにピンときません。



■「敬老の日」は、なぜ9月15日だったのか。

はじまりを調べてみると、ときは昭和22年、ところは兵庫県。

野間谷という村の村長だった門脇政夫という方が、

「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」

という思いから「敬老会」を開催。

その日が9月15日だったことが事の起こりのようです。

この思いと取組が全国に広がり、昭和41年に9月15日が「敬老の日」として
国民の祝日に制定されることになります。

ちなみに成人の日が「1月15日」に制定されていたのはこの日が小正月で
元服の儀が行われていたことから。体育の日の「10月10日」は昭和39年、
東京オリンピック開会式の日時。この日を記念、きっかけにスポーツへの
親しみを広げたいという思いから制定。

祝日の日にちにはちゃんと意味があって、そこには人々の思いや願いが
込められていたのですね。

■休み時間の校長室。

子どもの話を聞いているとき、

「ねえ、じいちゃん…」と思わず口にする子がときどきいます。

覚えのない筋肉痛。記憶を辿ると、そう言えば数日前に外で作業したなあ

などということがしばしば。近くの文字もすっかり見えにくくなりました。

そろそろ私も高齢者としての自分を本気で意識、自覚しなければならないよう
です…。